

	富山大学 医学系分野
学部・研究科名	<p>医学部（第1年次：105 第2年次：5）</p> <p>※医学科を記載。</p> <p>医学薬学教育部（医学薬学研究部）（M：15 D：25）</p> <p>※M：医科学専攻を記載。</p> <p>D：生命・臨床医学専攻、東西統合医学専攻を記載。</p> <p>生命融合科学教育部（医学薬学研究部）（D：9）</p> <p>※D：認知・情動脳科学専攻を記載。</p> <p>和漢医薬学総合研究所</p>
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に、富山大学から薬学部を移行して新設の富山医科薬科大学として設置されたのち、平成17年(2005年)に富山大学、高岡短期大学との再編・統合により富山大学医学部として設置された。</p> <p>昭和50年(1975年) 富山医科薬科大学医学部設置</p> <p>昭和38年(1963年) 富山大学薬学部附属和漢薬研究施設設置(平成17年(2005年)和漢医薬学総合研究所に改組)</p> <p>昭和57年(1982年) 大学院医学研究科設置(平成18年(2006年)生命融合科学教育部、医学薬学教育部に改組)</p> <p>平成16年(2004年) 国立大学法人に移行</p> <p><u>平成17年(2005年) 富山大学、高岡短期大学との再編・統合により富山大学医学部設置</u></p> <p>平成22年(2010年) 和漢医薬学総合研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 富山大学の理念等に基づき、患者本位の立場に立ち地域医療に従事する使命感を持った医師や創造性豊かな研究者等の養成を積極的に推進する。</p> <p>○ 地方公共団体と連携した医療人養成や住民参加による地域医療再生の取組などの実績を活かし、地域の課題に即した人材育成や社会貢献を積極的に推進する。</p> <p>○ 和漢医薬学（東洋医学）や認知情動脳科学を始めとする研究、大学院生命融合科学教育部を核とした医薬理工分野の連携による学際融合研究、地域の医療機器・医薬品産業と連携した研究開発等の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医薬品・医療技術の開発や医療水</p>

準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。

- 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等としての取組を通じて、富山県における地域医療の中核的役割を担う。